

産業保健論	3年・後期	2単位 30時間	非常勤講師 高橋美加
科目カテゴリー	看護提供のあり方	科目ナンバリング	33310922

1. 授業のねらい・概要

発展変化する産業構造と労働環境に即応した働く人々への産業保健が目指す健康の保持・増進について学ぶ。加えて、産業保健における看護活動の実際を理解し、健全な職業生活を支える労働衛生管理のあり方と看護職の役割について考える。

2. 学修の到達目標

1. 産業看護とは何かを知り、その重要性を理解できる。
2. 労働衛生の現状、産業保健活動の現状を理解できる。
3. 産業の場の特徴や職業性疾病、働く人の抱える健康問題を理解できる。
4. 産業看護職の役割や活動の実際を理解し、効果的な産業保健活動を考えることができる。

3. 授業の進め方

テキストを中心に、関連資料を追加しながら最新の情報を加えて講義を行う。視聴覚教材を積極的に活用し、興味や理解を深められるようにする。

4. 授業計画（講義）

回	授業内容	授業形態	事前事後学修（学修課題）	担当
1	産業保健・産業看護の理念	講義	予習：該当箇所のテキストを読む 復習：配付資料とテキストを再読し、産業保健・産業看護の目的や理念をノートにまとめる。	高橋美加
2	産業保健・産業看護の歴史と現状	講義	予習：該当箇所のテキストを読む 復習：産業保健・産業看護の歴史の中のポイントとなる内容について配布資料を見返して理解する。	高橋
3	産業保健活動を推進するための体制	講義	予習：該当箇所のテキストを読む 復習：産業保健活動を推進する体制や職種についてテキストを見直し、まとめる。	高橋
4	労働生理、産業疲労とその予防のための産業看護活動	講義	予習：該当箇所のテキストを読む 復習：授業内容を振り返り、理解する。	高橋
5	企業活動と産業保健・産業看護活動、産業保健計画	講義	予習：該当箇所のテキストを読む 復習：産業保健活動の計画立案の注意点等について授業内容を振り返りまとめる。	高橋
6	職場における健康診断と産業看護職の役割	講義	予習：該当箇所のテキストを読む 復習：健康診断の種類や健康診断における看護職の役割をノートにまとめる。	高橋
7	職場における健康相談の実際	講義	予習：該当箇所のテキストを読む 復習：健康相談実施時のポイントや注意事項について、講義内容を振り返り理解する。	高橋
8	健康づくりと産業看護職の役割	講義	予習：該当箇所のテキストを読む 復習：健康教室やセミナー実施時のポイント、課題等について理解する。	高橋
9	救急処置・疾病管理と産業看護職の役割 女子労働者・障害者への健康支援	講義	予習：該当箇所のテキストを読む 復習：産業の場で起こり得る救急処置や疾病管理上の対応、様々の労働者への支援についてテキストやプリントを読み返す。	高橋
10	職場におけるメンタルヘルスケアと産業看護職の役割	講義	予習：該当箇所のテキストを読む。課題のストレスチェックを実施する。 復習：メンタルヘルスの具体的な方法、ストレスチェックの結果の見方などを理解する。	高橋

11	職業性疾病, 作業関連疾患とその予防対策における産業看護職の役割	講義	予習: 該当箇所のテキストを読む 復習: 職業性疾患種類, 予防するための対策等について, テキストの見直しとノートにまとめる。	高橋
12	労働衛生教育の実践	講義	予習: 該当箇所のテキストを読む 復習: 産業の場で必要な労働衛生教育について, テキストを見直す。	高橋
13	職場の安全管理と職場巡視	講義	予習: 該当箇所のテキストを読む 復習: 講義中に実施したワークを振り返り, 安全管理について理解する。	高橋
14	働く人への保健指導	講義	予習: 該当箇所のテキストを読む 復習: 保健指導のポイントについて, 配布資料を見返す。	高橋
15	産業保健の動向, 産業看護活動の課題	講義	予習: 該当箇所のテキストを読む 復習: テキストの該当箇所, 講義プリントを再読する。	高橋

5. 成績評価の方法・基準

定期試験 95%, レポートと講義中のワーク内容 5% (参考程度) で評価する。

6. テキスト・参考文献

テキスト: 河野啓子著: 産業看護学 (最新版), 日本看護協会出版会

参考文献: 労働衛生のしおり 中央労働災害防止協会

7. 準備学習に必要な時間, 又はそれに準じる程度の具体的な学習内容

事前学習では理解が難しいため内容のため, 30~60 分程度テキストに目を通して参加すること。その日の講義内容の復讐を 60 分程度実施すること。

8. 受講上の留意事項

テキストからは読み取りにくい現場での活動や課題などを紹介するので, 講義はしっかり聞き, 積極的に参加すること。レポート提出が一度あるが, その日に提出されないものや内容に不備がある場合は未提出とみなす。

9. 課題に対するフィードバックの方法

課題については提出後の講義の中でポイントの解説等を行う。試験実施後, 解答などを掲示する。

10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

必修科目であり, 修得できない場合進級不可となる。

11. 該当する本授業は, 以下の実務経験を活かして実施される

現在, 産業の現場で保健師として勤務している。現場での経験を活かし, 活動の実際や最新の動向を加えて講義を行う。